

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】令和6年12月18日(2024.12.18)

【公開番号】特開2024-131287(P2024-131287A)
 【公開日】令和6年9月30日(2024.9.30)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-182
 【出願番号】特願2023-41463(P2023-41463)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 6 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 5 B 6 / 1 2 3 1 3

H 0 5 B 6 / 1 2 3 0 3

H 0 5 B 6 / 1 2 3 1 2

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月10日(2024.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

本体の上面に配置された左加熱口及び右加熱口において加熱動作を行う第1の加熱手段と、

前記本体の内部にある加熱室で加熱動作を行う第2の加熱手段と、

前記左加熱口、前記右加熱口及び前記加熱室における、それぞれの調理に関する情報を表示する統合表示部と、

入力操作部の入力を受ける制御装置と、

30

を備え、

前記統合表示部は、1つの表示エリアの中を、前記左加熱口用の左エリアと、前記第2の加熱手段用の中央エリアと、前記右加熱口用の右エリアと、に分割して表示する機能を有し、

前記統合表示部の外側で、かつ、それに隣接した前方の位置には、

(1)前記左エリア、前記中央エリア及び前記右エリアの個々に対応して存在し、実施すべき複数の調理モードの内から、1つの調理モードの識別情報Xを表示させるための右共用キー、中央共用キー及び左共用キーと、

(2)前記第1の加熱手段と前記第2の加熱手段の何れか1つの加熱動作の開始を決定できる切入キーと、

40

をそれぞれ配置し、

前記制御装置は、前記第1の加熱手段と前記第2の加熱手段とを使用して、1つの調理メニューに関して、調理工程1及び調理工程2を実行させる連携調理モードの実行機能を有し、

前記入力操作部により前記連携調理モードを選択した場合、当該連携調理モードで実行可能な複数の調理メニューの中から、1つの調理メニューの識別情報Zを前記中央エリアに表示し、

前記連携調理モードの加熱動作を開始させるための入力操作は、前記連携調理メニューの前記調理工程1を実行可能な前記左加熱口、前記右加熱口又は前記第2の加熱手段の何れか1つに対応している、前記左エリア、前記右エリア又は前記中央エリアの前方に配置

50

された、前記切入キーで行うこと、
を特徴とする加熱調理器。

【請求項 2】

前記連携調理モード以外の調理モードにおいては、前記左共用キー、前記中央共用キー又は前記右共用キーを操作する動作に応じて、前記調理モードの中から 1 つの前記識別情報 X と、次の選択候補となる別の調理モードの識別情報 Y とを、前記左エリア、前記中央エリア又は前記右エリアにおいて、同時に表示させることができる請求項 1 に記載の加熱調理器。

【請求項 3】

前記左共用キー、前記中央共用キー及び前記右共用キーは、それぞれが 1 対のキーを有し、それらキーは、前記識別情報 X を、規定の順序で表示させるアップキーと、前記規定の順序と反対の順序で表示させるダウンキー、の組み合わせで構成していることを特徴とする請求項 2 に記載の加熱調理器。

10

【請求項 4】

前記左共用キー、前記中央共用キー及び前記右共用キーは、それぞれが 1 対のキーを有し、それらキーは、前記識別情報 X と前記識別情報 Z とを、規定の順序で同時に表示させるアップキーと、前記規定の順序と反対の順序で同時に表示させるダウンキー、の組み合わせで構成していることを特徴とする請求項 2 に記載の加熱調理器。

【請求項 5】

前記連携調理モードが選択された場合においては、前記中央共用キーは、前記識別情報 Z を、規定の順序で表示させるアップキーと、前記規定の順序と反対の順序で表示させるダウンキーと、の組み合わせで構成していることを特徴とする請求項 2 に記載の加熱調理器。

20

【請求項 6】

前記左加熱口と前記右加熱口との間には中央加熱口を、更に設け、
前記統合表示部は、前記中央加熱口に関する調理の情報と、前記加熱室における調理の情報を、択一的に前記中央エリアにおいて表示する機能を有していること、を特徴とする請求項 2 に記載の加熱調理器。

【請求項 7】

外部と無線通信する通信部と、
報知手段と、を更に有し、
前記制御装置は、
(1) 前記通信部から 1 つの調理メニューのレシピデータに対応する予告情報を取得した場合、前記統合報知部で報知する報知ステップと、
(2) 前記入力操作部において、前記レシピデータの取得のための操作を受け付け、前記レシピデータの受信に備える受信待機ステップと、
を順次実行すること、を特徴とする請求項 1 に記載の加熱調理器。

30

【請求項 8】

前記制御装置は、前記報知ステップと前記受信待機ステップとの間で、前記入力操作部からの入力を受けて、前記通信部から選択情報を発信する確認ステップを実行すること、を特徴とする特徴とする請求項 7 に記載の加熱調理器。

40

【請求項 9】

本体の上面にそれぞれ配置された左加熱口及び右加熱口において加熱動作を行う第 1 の加熱手段と、
前記本体の内部にある加熱室で加熱動作を行う第 2 の加熱手段と、
前記左加熱口、前記右加熱口及び前記加熱室における、それぞれの調理に関する情報を表示する統合表示部と、
入力操作部の入力を受ける制御装置と、
を備え、
前記統合表示部は、1 つの表示エリアの中を、前記左加熱口用の左エリアと、前記第 2

50

の加熱手段用の中央エリアと、前記右加熱口用の右エリアと、に分割して表示する機能を有し、

前記制御装置は、前記第 1 の加熱手段と前記第 2 の加熱手段とを使用して、1 つの調理メニューに関して、調理工程 1 及び調理工程 2 を実行させる連携調理モードの実行機能を有し、

前記制御装置は、

前記入力操作部で前記連携調理モードを選択するステップと、

前記中央エリアに対応した中央共用キーの操作を受け付けるステップと、

前記中央エリアに、複数の調理メニューの内から、1 つの調理メニューの識別情報 Z を表示するステップと、

10

前記調理工程 1 を実行可能な前記左加熱口、前記右加熱口又は前記第 2 の加熱手段の何れか 1 つに対応している、前記左エリア、前記右エリア又は前記中央エリアの、何れか 1 つの前方に配置された切入キーの入力操作を受け付けるステップと、

を順次実行すること、を特徴とする加熱調理器。

【請求項 10】

前記制御装置は、前記連携調理モード以外の単独調理モードと複合調理モードの実行機能を、更に有し、

前記制御装置は、前記単独調理モード又は前記複合調理モードを実行する場合、

前記左エリアと、前記右エリアの何れかに、複数の調理モードの内から、1 つの調理モードの識別情報 X とを表示するステップ S 1 と、

20

前記左エリアに対応している左共用キー又は前記右エリアに対応している右共用キーの、何れか 1 つの操作を受け付けるステップ S 2 と、

前記ステップ S 2 の操作を受けて、前記識別情報 X とは異なる識別情報 Y を表示するステップ S 3 と、

前記ステップ S 3 の後で、前記ステップ S 2 で操作した前記左共用キー又は前記右共用キーの、何れか一方に対応した左加熱口を選択する左切入キー又は前記右加熱口を選択する右切入キーの操作を、それぞれ受け付けるステップ S 4 と、

デフォルト設定の火力で加熱動作を開始させるステップ S 5 と、

前記ステップ S 5 で開始した前記火力を前記左共用キー又は前記右共用キーの操作を受けて別の火力に変更するステップ S 6 と、

30

を順次実行すること、を特徴とする請求項 9 に記載の加熱調理器。

【請求項 11】

前記左共用キー又は前記右共用キーを操作する動作に応じて、前記識別情報 X と、次の選択候補となる前記識別情報 Y とを、前記左エリア又は前記右エリアにおいて、同時に表示させることができる請求項 10 に記載の加熱調理器。

【請求項 12】

前記左加熱口と前記右加熱口との間に中央加熱口を、更に設け、

前記中央加熱口の調理に関する情報は、前記中央エリアにおいて表示すること、を特徴とする特徴とする請求項 9 に記載の加熱調理器。

【請求項 13】

40

本体の上面にそれぞれ配置された左加熱口及び右加熱口において加熱動作を行う第 1 の加熱手段と、

前記本体の内部にある加熱室で加熱動作を行う第 2 の加熱手段と、

前記左加熱口、前記右加熱口及び前記加熱室における、それぞれの調理に関する情報を表示する統合表示部と、

入力操作部の入力を受け取る制御装置と、

を備え、

前記統合表示部は、1 つの表示エリアの中を、前記左加熱口用の左後方エリアと、前記第 2 の加熱手段用の中央後方エリアと、前記右加熱口用の右後方エリアと、前記左後方エリアの手前にある左前方エリアと、前記中央後方エリアの前方にある中央前方エリアと、

50

前記右後方エリアの手前にある右前方エリアと、に分割して表示する機能を有し、

前記左前方エリアの中にはタッチ式で入力可能な左共用キーを配置し、

前記中央前方エリアの中にはタッチ式で入力可能な中央共用キーを配置し、

前記右前方エリアの中にはタッチ式で入力可能な右共用キーを配置し、

前記入力操作部には、前記左共用キーよりも更に手前に位置し、前記左加熱口を選択する左切入キーと、前記中央共用キーよりも更に手前に位置し、前記第2の加熱手段を選択する中央切入キーと、前記右共用キーよりも更に手前に位置し、前記右加熱口を選択する右切入キーと、を配置し、

前記制御装置は、前記第1の加熱手段と前記第2の加熱手段とを使用して、1つの調理メニューに関して、調理工程1及び調理工程2を実行させる連携調理モードの実行機能を有し、

10

前記入力操作部により前記連携調理モードを選択した場合、当該連携調理モードで実行可能な1つの調理メニューの識別情報Zを前記中央エリアに表示し、

前記連携調理モードの加熱動作を開始させるための入力操作は、前記調理工程1を実行可能な前記左加熱口、前記右加熱口又は前記第2の加熱手段の何れか1つに対応している、前記左エリア、前記右エリア又は前記中央エリアの前方に配置された、前記左切入キー、前記右切入キー又は前記中央切入キーの何れか1つで行うこと、

を特徴とする加熱調理器。

【請求項14】

前記制御装置は、前記連携調理モード以外の単独調理モードと複合調理モードの実行機能を、更に有し、

20

前記制御装置は、前記単独調理モード又は前記複合調理モードを実行する場合、

前記左共用キー、前記中央共用キー又は前記右共用キーを操作する動作に応じて、複数のサブ調理モードの中から1つのサブ調理モードの識別情報Xと、次の選択候補となる別のサブ調理モードの識別情報Yとを、前記左エリア、前記中央エリア又は前記右エリアにおいて同時に表示させる、請求項13に記載の加熱調理器。

【請求項15】

前記左加熱口と前記右加熱口との間に中央加熱口を、更に設け、

前記統合表示部は、前記中央加熱口における調理の情報と、前記加熱室における調理の情報を、択一的に前記中央エリアにおいて表示する機能を有していること、を特徴とする請求項13に記載の加熱調理器。

30

40

50